

てしお

議会だより

No.174

令和3年8月25日発行

北海道
天塩町議会



こども園：「おまつりごっこ」

02 第2回定例会

3次コロナ対策事業を実施



みちのこえ

天塩町スローフードの会

のみなさん

05 一般質問

町政のそこが聞きたい



議会 HPはこちらからチェック！

補正予算ピックアップ

- 3次コロナ対策事業を追加
- 30%プレミアム付商品券を発行

第2回 定例会

6月16日

歳出(主なもの)

新型コロナウイルス感染症対策事業 7,719万円

内訳

老人憩いの家・消防分遣所改修	350万円
恵愛荘・デイサービス浴室等改修	3,890万円
町内事業者持続化支援補助金	2,000万円
オンライン会議環境整備	320万円
地域資源開発交流施設改修	1,159万円

プレミアム付商品券発行事業
(新北海道スタイル推進事業) 5,299万円

その他事業費 1,619万円

補正予算

コロナ対策事業ほか
1億4637万7千円追加

一般会計

歳入歳出について、総額を46億7900万円とする補正予算案を可決しました。

質疑要旨

開発交流施設
屋外の対策を

山本

地域資源開発交流施設(加工施設)で改修していない屋外への対策の考えは。

行政報告

○ 新型コロナウイルス感染症予防対策

北海道が5月16日に緊急事態宣言区域に追加され、天塩町では施設の利用制限や町職員の一部テレワークの推



▲衛生管理体制を万全に

農林水産課長
加工施設は7月1日より運営を開始する予定で、実際に稼働するなかでいろいろな面が出てくると思いますので、その中で対応していきたいです。

進、町内イベントの中止など感染拡大防止に最大限の努力を行っていきます。

ワクチン接種については、医療従事者と65歳以上の高齢者などへの接種が完了し、余り

についても国の示す優先順位に従いながら廃棄を出すことなく実施しています。

一般の方への接種は1回目を7月12日から予定しており、12歳以上へ引き下げられた接種対象年齢についても、できる限り早く対象者へ案内を行います。

当町は順調にワクチン接種が進んでいると思いますが、町民の皆様には引き続き新北海道スタイルの徹底をお願いし、国や北海道の動きを見ながら感染予防や経済対策に最大限努めていきます。

その他

(主なもの)

○ 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

山本議員ほか4名から提出された意見書案を可決しました。

【提出先】

内閣総理大臣
ほか10名

【内容】

全国の森林面積の約4分の1を占める北海道の森林を将来の世代に引き継ぎ、防災や減災対策、森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化が実現できるよう次の措置を要望します。

① 森林整備や治山事業への予算の確保

② 道産木材の販路拡大や、森林づくりを担う人材の育成などに必要な支援の充実・強化

新型コロナウイルス感染症対応

地方創生臨時交付金事業一覧（第3次計画事業）

（令和3年6月現在）

令和2年度繰越事業

事業名	事業概要	事業費(概算)
ストレッチャー式入浴装置設置事業	発熱外来新設により増加した病院職員の業務負担の軽減と入院患者の入浴による3密リスク軽減のため入浴装置を設置する	825万円
通所介護サービス送迎能力強化事業	通所介護サービスの送迎バスを増便し、高齢者の集団感染リスクを低減させるためマイクロバスを購入する	1,135万円
令和2年度繰越事業 合計		1,960万円

令和3年度新規事業

事業名	事業概要	事業費(概算)
飛沫感染防止対策事業	感染防止と衛生水準の向上のため、雄信内老人憩いの家や消防雄信内分遣所のトイレの洋式化や、シャワーなどを整備する	350万円
老人福祉施設等感染症対策事業	感染症がまん延しても施設が運営できるように、恵愛荘やデイサービスセンターの浴室や手洗い場、トイレを改修する	3,890万円
町内事業者等事業持続化支援事業	町内事業者が感染症対策や業務の維持・継続を図るため、商工会と連携して感染症対策物品の整備や店舗の改修などへの補助を行う	2,000万円
オンラインミーティング等実施基盤整備事業	リモートでの広聴や情報発信機能を強化するため、会議や集会などをオンラインで開催するための大型モニターやカメラなどを整備する	320万円
地域資源開発交流施設機能強化事業	水産物生産業者による商品開発を促進するため、地域資源開発交流施設に水産加工設備(熟成乾燥庫など)を整備する	1,159万円
令和3年度新規事業 合計		7,719万円

感染症対策事業の目的

①感染拡大の防止
(4事業)

②雇用維持と事業継続
(1事業)

③強靱な経済構造の構築
(2事業)



▲恵愛荘の浴室を改修



▲感染症対策（例：空気清浄機）



▲リモート会議（てしお会議）

一般質問

第2回定例会の一般質問には、4人の議員が登壇しました。
紙面の都合により、内容を要約してお知らせします。



石山 直継 議員
運転資金への支援は

5

横山 敦 議員
町遊休地の無償化を

6



山本 春光 議員
ワクチン接種へ特典を

7



国奥 強 議員
稼げる観光への考えは

8



町政のそくが聞きたい

一般質問とは

議員が町政全般にわたり、執行機関に対して事務の執行状況および方針等について所信や疑問などをたずねることです。

一般質問

石山直継 議員

運転資金への支援は

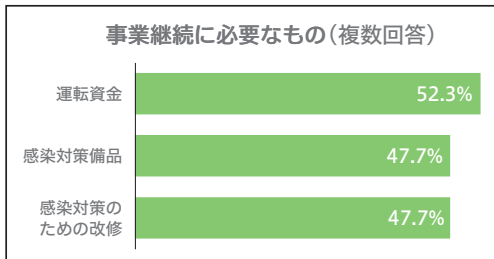
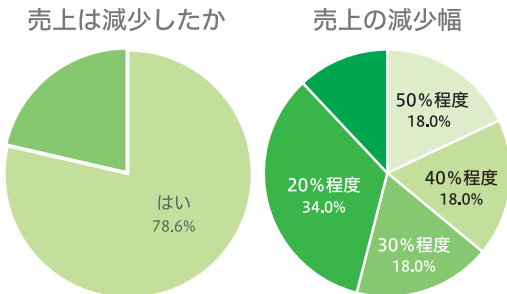
町長 町は地域経済全体を支援



商工業者への調査結果は

①町内商工業者に対して行われたコロナ対策アンケートの結果は。
②以前に国からの第3次新型コロナウイルス対策事業で、商工関係に約2千万円の支援を行うと説明があったが間違いないか。
③新型コロナウイルスの変異種がまん延し、先行きが不透明な状態が続いており、飲食店においては我慢の限界

を超えている。
アンケート調査や商工会に対する支援事業を行うことができるかという質問の実施が4月であり遅さに疑問を感じるがどうか。
④商工関連業が困窮している現状への町長の考えは。



YouTubeはこちら



町長

①商工業者83件に実施し、57件から回答をいただきました。

コロナ禍が起こる前と比べて売り上げの減少があったのは全体の78.6%を占め、事業継続に何が必要かについては、運転資金と感染対策備品の整備との答

えがほぼ半々という結果でした。

②2月に事業の素案を説明し、修正を経て今回の補正予算に提案しています。

③商工会との連携が必要と考え、アンケート結果の提供や事業主体となるよう働きかけなどを行いました。

対応の遅れについて事業者の皆様には申し訳ないと思っておりますが、議員との議論を経ながら前へ進むことや、商工会からの要望が5月末に上がったことも含めてご理解いただきたいです。

④緊急事態宣言下による飲食業への休業・時短要請が続くなか、地域産業を取り巻く状況が厳しいことは言うまでもなく、行政としてさまざまな方と協力しながら地域経済の回復に努めたいです。

商工観光課長

③商工会が行うべき状況把握を行い、事業展開のための協力や協議に応じる姿勢を示しながら進めましたが、要請なども含めて期待ど

おりの進捗とはなりませんでした。

運転資金支援町の考えは

①運転資金が必要との回答が多いが、運転資金支援への考えは。

②町と商工会の温度差があまりにも激しいのではないか。

商工会への打診ばかりではなく、町が主体と

なっており、町は地域経済全体を支援として商品券や感染予防対策を重点的に進めたいです。

町長

①運転資金への支援は国や北海道などがしており、町は地域経済全体の支援として商品券や感染予防対策を重点的に進めたいです。

②温度差は役割分担の違いです。

行政は経済行為にほとんど入ることができないため、商工会に入っていたが、町はそこへの支援を行いたいです。

臨時休業

のお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言に伴い、お客様と従業員の安全を考慮し、下記期間、臨時休業とさせていただきます。

休業期間

6月1日(火)

6月20日(日)

※今後の状況により再開日については変更する場合がございます。

お客様には大変ご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解の程よろしくお願いいたします。

たつみ

▲休業要請による臨時休業

町遊休地の無償化を

町長 財源対応がないと難しい



遊休地の活用は

公営住宅の解体跡地や未利用の町有地は、今後の利用計画が立たないまま長い間空き地状態が続いている。

公営住宅も老朽化しており廃止や集約も検討していると思うが、こうして増え続ける公営住宅跡地の活用方法の一案として、持ち家の取得を後押しする制度が必要である。

コロナ禍、そして低迷する経済状況下で土地

が提供されれば住宅を建設したい町民や地方に住みたい移住希望者の定住促進のため、町遊休地を宅地として無償で貸与、または分譲し活用してはどうかと考える。

新築住宅の建設は固定資産税の増収も期待でき、急激に進む人口減少を緩和させる政策が必要ではないかと思うが、町長の考えは。

町長

公営住宅の解体跡地は現在の公営住宅の駐車場や町道の雪置き場として、また、災害時における仮設住宅の建設用地のひとつとしています。

以前に町営住宅の解

 **YouTube** はこちら



体跡地の一部を坪あたり100円の低価格で分譲売払いをする計画がありました。が、路線価格の低下や、すでに土地を購入し住宅を新築した方との平等性を考えると実現しませんでした。

市街地での町有地に住宅を建てたいとの問い合わせは年1件程度で、平成29年に6区画の売り払いを公募しましたが、申込者1件という結果でした。

住宅の取り壊しや転出により空き地や空き家が増えるなか、定住や税収の面から新築住宅の建設がひとつの施策であると考えます。

町有地の未利用地について、公営住宅の



▲公営住宅の解体跡地

建て替え候補地を検討し、また、町有地を求める方が多数いる場合は土地の分筆代、水道管や取り付け道路の整備などの経費と見合う分譲売り払いを検討しています。

資産の有効活用を

① 町有地の売却が進まないのは価格が高いからである。

住宅建設への補助制度は予算確保の面から困難であり、今ある資産を有効活用することが必要だと考える。

● 一口メモ

～コンパクトシティとは

郊外に居住区域が広がるのを抑え、できるだけ生活圏を小さくした街の構造で富山県富山市などで実践されている。

【メリット】

- ①行政サービスの充実
- ②経済の活性化
- ③交通環境の改善

【デメリット】

- ①郊外にいる人に移ってもらう
必要がある
- ②近隣とのトラブル

無償化のデメリットも理解するが、若者や町外から移住希望者が定住してくれるメリットの方が大きいと感じることから、効果が表れるまでの起爆剤としての無償化政策への町長の考えは。

②定住政策や空き地の活用策、若者に喜ばれる政策や構想の考えはあるか。

ほとどの人口増加が見込める場合以外は難しいと考えています。

②土地の相続を重点的に調査する担当係の設置や、空き家解体補助金などの制度を作りながら、空き地や空き家対策を進めたいです。

また、今後のインフラ投資や維持管理をいかに抑えるかという意味で、コンパクトシティの議論を議会の皆さんと行い、前へ向かっていきたいです。

町長 ①何らかの制度か財源
対応があつたときや、よ

山本春光 議員

ワクチン接種へ特典を

町長 既に案内しており難しい



ワクチン接種の 進捗状況は

① 新型コロナウイルスワクチン接種の予約や接種の進捗や、健康被害救済の状況は。
② 緊急事態宣言が延長されたなかでの観光客への対応策は。
③ 感染症拡大により生活が困窮した人のため、期限が近づいた災害用備蓄食品を団体に無償提供する動きが全国で行われている。
町としてもポータルサイトで情報提供を行います。

い、連絡をいただいた団体へ無償提供してはどうか。

町長

① 5月末現在で65歳以上の高齢者については、総人口1139名に対し968名の接種予約があり、948名の1回目の接種が終了しています。

健康被害救済状況については、かゆみや筋肉の痛み、発熱などの軽度な副作用の報告を受けていて、いずれも数日以内に回復している状況です。
② 鏡沼キャンプ場などについては、閉鎖や使用制限のほか、他県や特定措置区域からの利用をお断りしています。

YouTube はこちら



道の駅やてしお温泉夕映については、営業している事業者へ感染予防対策を十分行うよう指導しています。

③ 保存期限をむかえる災害用備蓄食品は、防災訓練や学校の防災教育などに参加された住民や児童生徒に配布することで啓発資料として活用しています。

国でも災害用備蓄食品の役割を終えたものを団体などへ提供していることから、町としても防災訓練などで配布してもなお余剰が生じる分についてはフードバンク団体などへの提供を検討したいです。

接種率の向上へ



▲防災訓練などで配布

① 7月から予定されている一般接種の対象者は仕事をされている方が多く、接種日が平日なので仕事を休まなければいけない。

他の地域ではワクチン接種率を上げるために接種完了特典を与えているが、天塩町でも図書カードなどを特典とすることができないか。

② 休日や時間外での接種は考えられないか。
③ 町内ではワクチン接

種を終えたらマスクを外し、イベントを行えばよいという声も聞けるが、変異種に感染する可能性があることから厳しいと思う。
ワクチン接種を終えたとしても安全・安心が確保されるまではマスクや手洗い、うがいなどの実践を天塩町スタイルとしてポスターなどを作り、町民や観光客に向けて促してはどうか。

町長

① ハローポイントの付与などを検討しましたが、既にワクチン接種の案内をしており、一般の方だけにということとは難しいため実現しませんでした。
② 当初は専門外来が入っている日を接種日から除外していましたが、病院との協議により1週間連続して午後の時間帯に行うこととしました。

休日や平日の時間外については、既に予約などが一部で始まっている状況ですので、一般接種が一回りした後の対応のなかで改善していきたいです。

商工観光課長

③ ワクチン接種が進むにつれ、マスクをしないで施設を利用される方が多くなったという話を聞いており、マスクをしていただくようにポスターを貼るなどの対策をしたいと考えています。



マスクをしよう



手を洗おう

▲安全・安心の確保へ

稼げる観光への考えは

町長 民間の方と一緒に考える



観光振興策 の現状は

本町は海や川、山の豊かな自然環境と歴史や文化を有する地であり、この資源を観光振興や地域振興の素材として活用し、広くアピールすることが大切だと考える。

現在コロナ禍にあるため観光客が激減しているが、今後収束が見通せる時期が来ると考えており、自宅から近い場所を旅行するマイクロツーリズムといった

ウィズコロナ時代への新たな兆しも実感している。

観光地域づくりは近隣自治体や民間企業、学校や地域住民の方などと足並みをそろえる必要があることから、次の4点を伺う。

- ①現在の観光振興策の内容や実績、効果は。
- ②DMO（観光地域づくり法人）への取り組みは。
- ③天塩町に適した観光のあり方は。
- ④町長が考える観光とはどのようなものか。

YouTubeはこちら



町長

①観光協会の主催による集客イベントへの支援や情報発信、道の駅を拠点とした地域の魅力発信への取り組みを行っています。

集客イベントは新型コロナウイルス感染症の影響から今年度も実施が困難と判断されましたが、感染予防に注意しながら行える企画を観光協会と協力しながら進めています。

②振興局が中心となり管内版DMOの設立に向けた取り組みを行いました。自治体間で賛否が分かれ、設立を断念しました。

③自然が豊富な地域ですが滞在型の観光資源が少なく、観光を生業とした企業の参入が期待できません。

現状では、道の駅の利便性や地域情報の発信効果の向上に努めています。

④観光の本質は、地域

への関心を持って足を運んでもらい、地域経済への波及を図ることと考えています。

リーダーシップを

①自然環境を活かし、早急に観光対策を進める考えは。

②観光団体と観光振興について連携をとるため、町がリーダーシップを持ち積極的に関わり、稼げる観光を目指す考えは。

町長

①町に近い河川公園のエリアを物販や食事の提供を含めて、何とかしたいという考えで議論しています。

しかし、かわまちづくりでの開発局との関係がほぼ終わりつつあり新規事業が見込めないため、河川を町が有効的に使うための要望

をしており、その中で



▲管理者（開発局）との協議が必要

天塩川や日本海、利尻富士の景観も含めた全体の再開発を進めたいです。

②民間の方が参入し、そこに対して町が支援や応援をしながら一緒に考えていくことが原点だと考えています。

過去には役場がすべて直営でしていましたが、もうそういう時代ではありません。

新しい話については議会の皆さんとの議論を経ながら、次の展開を考えたいです。

一口メモ

～DMO（観光地域づくり法人）とは

地域の「稼ぐ力」を引き出し、地域への誇りと愛着を作り上げる「観光地経営」の視点で、関係者と戦略を策定し実施に向けて調整を行う法人。

【登録に必要な条件】

- ①関係者との合意形成
- ②データ収集から事業戦略の策定見直しまでのサイクルの確立
- ③事業との調整や仕組み作りの実施
- ④法人格の取得や責任者の明確化専門的人材の確保
- ⑤安定的な運営資金の確保

委員会調査レポート

産業厚生常任委員会

3月25日

(福) 天塩町社会福祉協議会

利用者へのサービス向上を



福祉行政を町との両輪で担っている天塩町社会福祉協議会は、町からの補助事業や委託事業、福祉施設の指定管理を行っています。

また、恵愛荘などの福祉施設の老朽化が進んでいることから、町からの補助事業などの内容や福祉施設の今後について調査を行いました。

調査結果

補助金などの内訳（令和元年度決算）

区 分	事 業	金 額
補助金	ボランティア、ふれあい大運動会 など	23,131,203円
委託料	介護予防・生活支援事業 など	10,952,219円
指定管理料	特別養護老人ホーム「恵愛荘」など	55,371,000円
	合 計	89,454,422円



町からの補助金などは、法人の運営やボランティア活動事業への補助のほか、介護予防や自立支援を行う事業の委託や恵愛荘の指定管理など、合計で年間約9千万円になります。

恵愛荘などの福祉施設は築23年～44年と老朽化が進んでおり、段階的な施設整備を行いたいですが、整備を行うための財源を確保できていない状況です。

質 疑

後藤 恵愛荘など福祉施設の指定管理をしているが、職員は足りているか。

社会福祉協議会 介護員が3名足りない状況で正規職員の求人を学校に出していますが、介護は大変というイメージもあるのか、応募はありません。

山本 建物や備品の管理について、定期的に話し合いをしているか。

福祉課長補佐 月に1回の連携会議などで壊れている部分の確認や今後の改修についての話し合いをしています。

調査意見

社会福祉協議会で行っている事業について、町民にわかりやすい事業内容の周知をしてほしい。

施設管理について、修繕料が多額とならないために、壊れている部分を小さいうちに早く修繕できるよう町と社会福祉協議会との話し合いを充実させてほしい。

介護員が不足していることから、修学資金貸付制度などの周知や職員の処遇改善を社会福祉協議会と町とで協議をしながら行い、利用者へのサービス向上に努めてほしい。



表紙の写真 「おまつりごっこ」 認定こども園

7月21日に、認定こども園おひさまでおまつりごっこが開かれました。

新型コロナウイルス感染症拡大のため、今年も町内のお祭りが中止や縮小での開催となるなか、年上の子が年下の子の手を握り、ヨーヨー釣りやポップコーン屋さんなど5種類の出店と一緒に楽しんでいるのを見てほほえましかったです。



今回は天塩町スローフードの会のみなさん

Q. 天塩町スローフードの会の活動内容は？

A 会員は現在 43 名です。

主な活動として、季節の食材や地元産品を調理し、会食を行う例会や、高校生や若い親子に対して、地元でとれた食材を使った食育教室や餅つき、そば打ち体験を行っています。

課題としては、会員の高齢化や参加者の減少、若い人への情報発信などがあります。

Q. 将来のまちづくりに望むことは？

A 子供たちが酪農業や水産業を体験できる機会があれば、町に誇りを持ってくれるのではと思います。
冬の交差点の角に雪が溜まり、車が見えづらいので除雪してほしいです。

空き家が多くなっているの、病院や買い物の帰りにみんなが立ち寄って休んでいけるような場所に改修してほしいです。

Q. 議会や議会だより どうですか？

A 議員と気軽に話す機会がないため、もっと住民の声をくみ上げるような機会を設けてほしいです。

議会を今までに何度か傍聴しましたが、いろんな人が話して内容が入らず、議会だよりで詳細を確認しています。

議会だよりは、文章や写真がわかりやすくまとめられていますが、もう少しお年寄りに読みやすくしてほしいです。

この取材の詳しい内容は HP に掲載しています。

天塩町議会 |

検索

議会を傍聴しませんか？

第3回定例会は



9月14日～16日の予定です。

一般質問は14日に行う予定です。

質問者・内容はホームページやLINEに掲載します。

LINE



LINE に公式アカウントを開設しています。
議会の情報を発信していますのでぜひご登録ください。

YouTube



動画配信サイト YouTube で本会議の録画配信をしています。
チャンネル登録をお願いします。



町民相談コーナーを開設しています。ご相談がある方はお気軽に議会事務局まで問い合わせ下さい。